

わたしたちの同窓生

《母校創立117周年》

会員数 33,445名
平成28年4月10日 現在



2016.4.10 第30号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会
〒370-0062 高崎市稲荷町 20
電話 (027)362-2585
発行責任者 村田喜代子
印刷 株式会社 精真社

同窓会の皆様には、母校のために様々な面でご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
高女では、今年度から「グローバル社会でリーダーとして活躍できる生徒の育成」という教育目標の達成をめざし、高女版のスーパーグローバルハイスクールを実施する予定です。この取組の一本目の柱は、「グローバルに活躍できる女性の育成」という視点です。グローバルリーダー養成講座やワークショップなどを実施して、女性グローバル人材としての生き方・働き方などを学びます。また、今



世界に羽ばたけ
高女生
校長 大栗 勇一

同窓会員の皆様お健やかに
お越しの事とお慶び申し上げます。
昭和61年に「椎の樹」創刊号が発行されて以来、本年は30号を迎えました。
私事で恐縮ですが創刊号での母の同窓会長としての言葉に改めてふれ、懐かしく往時を思い出しました。また母校創立100周年、同窓会100周年の特集等会報委員さんは色々な角度から卒業生のご活躍を紹介したり、細かいお気遣いでご苦労願ひ、またそれを会員の皆様に全面的に応援して下さり感謝にたえません。部厚い綴りを手にして感無量です。
さて会報にも報告されておりますが今年度の同窓会行事もほぼ済み、どの行事もさすが高女卒業生の会と感心させ



「椎の樹」30号
おめでと〜ございませう
同窓会長45期
村田喜代子

年度から実施するアメリカ海外研修や海外派遣への参加により、海外視察や国際交流・語学研修などを通じて、海外の本物に触れ、異文化理解に努めます。
二本目の柱である「主体的に行動し、課題解決に当たれる資質や能力の向上」という視点からは、3年間に亘る探究型学習を通じて、課題設定力や解決力、表現力の育成に努めます。
具体的には、1年次にディベート学習や群馬をテーマにしたグループ研究を行い、探究型学習のスキルを学び、2

春の光の中、高女同窓会員の暖かな眼差しと母校の伝統に包まれ幸せです。
今後の同窓会の益々の発展と皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。
なお母校の耐震工事も済み生徒達は安心して勉強にクラブ活動に励んでおります。
ご不便をおかけしていた椎樹館のトイレの改築工事も決定しました。五月二日(五月一日が休日の為)の総会には皆様お誘い合わせて是非ご参加ください。お待ちしております。

今回の同窓会記念講演会は大蔵流狂言山本家四世、山本東次郎先生をお招きしてのご講演でした。山本家は、徳川幕府の式学の伝統を継承する格式高い芸風を踏襲しておられます。
当日は人間国宝の山本先生をお迎えするという事で、

86期 鈴木由里子
講師 大蔵流狂言・人間国宝 山本東次郎先生
「狂言のすすめ」を聴講して

講演前は会場全体に緊張感が漂っていましたが、先生のご登壇とともに優しいお人柄が伝わり、和やかな雰囲気になりました。
最初に、狂言の成り立ちや歴史、能との関係性と狂言の二つの特徴についてお話をいただきました。第一の特徴は、人間の愚かさを「事件」として描かないこと。次に、人間の愚かさを決して追い詰めたど糾弾したりしないので許すこととです。
続いて、「末広」と「花子」という2曲の演目を通して、狂言の鑑賞ポイントとなる謡(うたい)、舞(まい)、語り(かたり)や、装束、面(おもて)を山本則重、則秀ご師弟の実演を交えてご披露頂きました。美しい姿勢や凛とした動きから、厳しい練習の積み重ねを垣間見ることができました。

祝言性の高い作品の「末広」では、狂言の代表的な登場人物の説明、型の感情表現や衣装の様式についてお話を聴かせて頂きました。
歌舞伎の「身代わり座禅」の元となった「花子」のユーモラスなあらすじと女性を表す髪型の様式について、また、40年前に作られた「福の神」「武悪」「鬼」のお面や猿のお面など、貴重な家宝を拝見させて頂きました。
ご講演の最後に、東次郎先生による小舞のご披露があり、風格のある美しさは時が止まったようでした。
今回のご講演は、狂言の面白さや魅力に接する素晴らしい機会となりました。
人間の普遍的な姿を、高い品格と上質な面白さで表現する伝統芸能「狂言」がますます発展することを願って、山本東次郎先生と山本家の皆様、今後益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

86期 光島祥子
開校記念日であり5月1日、多数の会員の方々、学校長をはじめとする来賓の方々のご列席を頂き、母校椎樹館にて、平成27年度同窓会総会が開催されました。村田会長のご挨拶のあと、大栗校長のご挨拶、ご来賓紹介、そして議事へとつづりました。
次第にそつて進み、事業・会計報告、会則説明等滞りなく終了致しました。その後、京浜同窓会のお知らせ、各委員会からの報告と続きしました。旅行委員会からは、10月に予定された横浜方面への親睦旅行のお誘いも。最後は校

歌合唱。ほとんどの方が歌詞を覚えていらつしやるようで、伸びやかな歌声に、世代を超えた強い繋がりを感じました。
100名を超える参加者の方々に接し、改めて母校の伝統と誇り、そして絆を感じる事が出来た総会でした。お忙しい中ご出席くださいました皆様、本当にありがとうございました。

歌合唱。ほとんどの方が歌詞を覚えていらつしやるようで、伸びやかな歌声に、世代を超えた強い繋がりを感じました。
100名を超える参加者の方々に接し、改めて母校の伝統と誇り、そして絆を感じる事が出来た総会でした。お忙しい中ご出席くださいました皆様、本当にありがとうございました。

祝言性の高い作品の「末広」では、狂言の代表的な登場人物の説明、型の感情表現や衣装の様式についてお話を聴かせて頂きました。
歌舞伎の「身代わり座禅」の元となった「花子」のユーモラスなあらすじと女性を表す髪型の様式について、また、40年前に作られた「福の神」「武悪」「鬼」のお面や猿のお面など、貴重な家宝を拝見させて頂きました。
ご講演の最後に、東次郎先生による小舞のご披露があり、風格のある美しさは時が止まったようでした。
今回のご講演は、狂言の面白さや魅力に接する素晴らしい機会となりました。
人間の普遍的な姿を、高い品格と上質な面白さで表現する伝統芸能「狂言」がますます発展することを願って、山本東次郎先生と山本家の皆様、今後益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

祝言性の高い作品の「末広」では、狂言の代表的な登場人物の説明、型の感情表現や衣装の様式についてお話を聴かせて頂きました。
歌舞伎の「身代わり座禅」の元となった「花子」のユーモラスなあらすじと女性を表す髪型の様式について、また、40年前に作られた「福の神」「武悪」「鬼」のお面や猿のお面など、貴重な家宝を拝見させて頂きました。
ご講演の最後に、東次郎先生による小舞のご披露があり、風格のある美しさは時が止まったようでした。
今回のご講演は、狂言の面白さや魅力に接する素晴らしい機会となりました。
人間の普遍的な姿を、高い品格と上質な面白さで表現する伝統芸能「狂言」がますます発展することを願って、山本東次郎先生と山本家の皆様、今後益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

Table with 4 columns: Date, Time, Event/Venue, Contact Info. Title: 平成28年度 行事予定表

Advertisement for the 2018 Alumni Association General Meeting and Lecture. Includes speaker profile for Tamaaki Higashi and event details.

※29年度の当番期は88期(昭和63年度卒業)です

想いをつなぐ同窓会報「椎の樹」30号

昭和61年12月24日「椎の樹」を創刊して以来、今回30号となりました。その間編集委員の交代はありましたが、母校への想いは変わらず絆を深めてまいりました。

今回30号を記念して「3」に関係した卒期の代表者に、会報について感想等を寄せて頂きました。

「椎の樹」30周年、おめでとうございます。会報も年々明るく近代的で、読み易くなりました。「椎の樹」は伝統ある母校同窓生、在校生の活動状況等、各部門ごとの編集委員の英知の現れと感心して拝見しています。私も旧高崎女学校時代生は超高齢者、90才に近くなりますので、折角の「椎の樹」も完全に読み切れず、また文字が小さい部分も困難の様子です。「北から南から」の同窓生便りは卒業生としての誇りを持ち懐かしむ様子が伺えます。

なお、高崎市周辺にある文化・芸術・建造物等を紹介して戴けたら如何でしょうか。

以前同窓生で立派な方々も掲載され、改めて知ることができました。これからもそのような方々のご紹介をお願い致します。



43期 宮下初枝

「椎の樹」30周年、おめでとうございます。会報も年々明るく近代的で、読み易くなりました。「椎の樹」は伝統ある母校同窓生、在校生の活動状況等、各部門ごとの編集委員の英知の現れと感心して拝見しています。私も旧高崎女学校時代生は超高齢者、90才に近くなりますので、折角の「椎の樹」も完全に読み切れず、また文字が小さい部分も困難の様子です。「北から南から」の同窓生便りは卒業生としての誇りを持ち懐かしむ様子が伺えます。

同窓会入会式

入会の言葉

暖冬と予想された今年も、やはり寒さは厳しく、冷たい北風に耐え、ようやく春の気配が身近に感じられるようになりしました。

芽吹き始めた校庭の木々に見守られ、今日この佳き日、私たちはこの学び舎を巣立つことができました。

今、目を閉じて思い起こせば、高校生活のさまざまな場面が鮮やかによみがえります。日々の生活や部活動、委員会活動や学校行事…。友と学び、ときに競い、悩み、笑い、泣き、お互いを高め合ったこ

の3年間は、私たちの人生のかけがえのない時間です。

今日まで私たちが助け、励まし続けて下さった先生方、喜びや悲しみを分かち合ってきた仲間たち、そして温かく見守ってくださった同窓生の皆様方には、感謝の気持ちでいっぱい입니다。ほんとうにありがとうございます。

ただいま、同窓会入会にあたり、高女の伝統の一翼を担う重みを実感しております。伝統を受け継ぎつつ、高崎女子高等学校の名に恥じぬよう、努力を惜しまず、それぞれの道に進みます。

結びに、先輩方におかれましては、今後とも未熟な私たちをご指導してくださいようお願い申し上げます。入会の言葉

53期 福島り子

会報30号、おめでとうございます。

私達は本年81歳になる学年です。5年に1回53期の同窓会をしていましたが、78歳の時最後の会を一通で実施し、その報告を「椎の樹」に載せて頂きました。

53期の同窓会は中止になりましたが、各クラスやクラブ活動単位で楽しんでいきます。

学生時代を共に過ごした仲間のすばらしさを会報で知るにつけ、80代になった今でも、生き生きと若さを感じる今日この頃です。



73期 廣瀬節子

夫を望みたいのです。例えば、地域社会で活躍されている卒業生や恩師の方々の近況紹介などを載せてほしいのです。

しかし、会報作りの苦勞は重々わかります。次号を心待ちにしております。

63期 四本宣子

「椎の樹」は保存してあります。行事報告が紙面を埋めていて、私は行事に参加している事が多いので、見出しに目を通すだけが多いです。でも4面の「あとがき」は編集の方々の思いを感じながら読みます。

同窓生にとって会報は現在の同窓会を知りうる唯一のものでしようが、内容にひと工

といたします。

平成28年3月1日

新入会員代表 橋爪志織

(115期 期別幹事)

橋爪 志織・原 梓
海老沼柚衣・内藤 芳香



私達の期は同窓会100周年の年の当番期でした。水上館へバス7台を連ねて一日、二日目は小旅行。思い出深い総会でしたが、その年の「椎の樹」には、その様子がカラーで写し出されていませんでした。その会報を通して同窓生の皆様の思いを実感いたしました。

取り上げられる記事の一つ一つが高女の歴史とともに、日本の歴史につながっています。戦中戦後の大変な時代を先輩方が生き生きと頑張る姿に触れて、同窓会とは凛として生きることを学ぶためにあるものと感じています。その機関誌「椎の樹」こそ、大切なお便りです。

私は、小学生の頃から高崎女子高校へ通うことが夢であり、今回この様な文章を書かせていただけることに感謝しています。

今、私は大学へ通い将来に向けて学習しています。学習を続けていく中や日々を過ごしていく中で、どうしても挫折をしたり、落ち込んだりすることも出て来ます。ですがその様な時に高女で仲間と共に乗り越えてきたことを思い勇気や元気を貰え、次に踏み出してみようと思えます。

これからも高女で過ごした3年間を自信の糧に、日々を乗り越えていけたらと思っています。

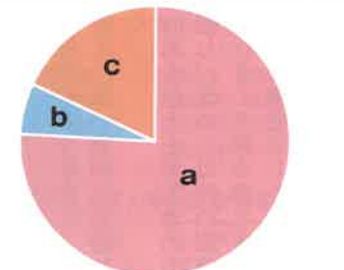
83期 遠藤典子

毎年届く「椎の樹」は、高女同窓生を意識できる大事な絆ですが、以前はあまり細かく目を通していませんでした。当番学年の幹事として活動して初めて役員の皆様のご苦勞に触れ、様々な世代の先輩や後輩と交流する楽しさを実感し「椎の樹」がそうした活動の大切な会報だということを実感しました。

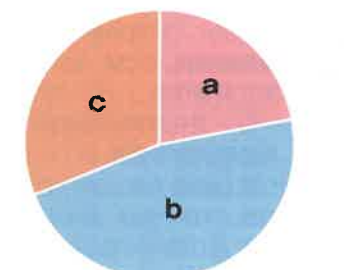
記事の内容は例年ある行事の報告が、どうしてもマンネリな印象があります。より多くの人に身近に感じてもらうために、例えば若い世代で現

「椎の樹」についてのアンケート

平成27年12月14日の期別幹事会において、50名の方に会報についてのアンケートをお願いしました。



- a.全部読む.....76%
- b.見出しだけ読む.....6%
- c.関係のあるところだけ読む.....18%
- d.ほとんど読まない.....0%



- a.ずっと保存.....22%
- b.次号発行までは保存.....47%
- c.いつの間にかなくなる.....31%

ご意見・ご感想

- 毎号楽しみに読んでいます。(52・57・60・64・65・82期)
- 遠方に住む同窓生の成功された経験等、載せて頂きたいと思います。(50期)
- 戦中戦後の激動の級友も80代となり、貴重な体験をした友も高齢になり、その当時の記録も残したいものと思います。(50期)
- 期別幹事会の討論された内容を報告して頂ければ、もっと学校への愛着がわき、役員になる方も増えてくると思います。(55期)
- 特集は前もって案を出し、変化をもって頂きたいです。(55期)
- 学校の近況を知る上で楽しいです。各学期の活動報告は楽しみです。(56期)
- 以前「由縁(ゆかり)」というコーナーがありましたが、家族関係のコーナーが復活するとおもしろいと思います。(67期)
- 会報を読まずにいる方々にも会報のおもしろさ・母校の近況や同窓会情報等、おもしろくためになる会報になる事を願っています。(67期)
- 大きな字のほうが見やすいので、少し大きめの字にして頂けると有難いです。(70期)
- 毎年楽しみにしています。カラー写真が載っているので、目で見てすぐ内容がわかるので良いと思います。(80期)
- 大変な労力と時間をさいて編集していただきありがとうございます。(81期)

椎の小径

俳画 地唄舞



83期 綿田映子



55期 清水信子

三人の子育てを経て、ある時すばらしい詩舞に魅せられ入門。新舞踊、地唄舞と三十五年間、その内二十五年間は地唄舞に傾注しております。

地唄舞は少ない動きの中により深い心情を表現するものです。国立劇場の舞台は六回踏ませて頂き、初めての舞台が決まった時には天までも舞い上がる思いで一杯でした。

今では、舞の奥深さを学び多くの愛好家の人達に囲まれ稽古を楽しんでいます。

私たちの頃京都の師の門を叩いて30年、この道を歩き続けています。俳画の信条は画と句を付かず離れず取り合わせる事。どこか人間関係にも通じるものがあります。

親睦旅行

親睦旅行に参加して

87期 柳澤朋代



さわやかな秋の日に初めての高女同窓会の親睦旅行に参加させていただきました。

横浜へ向かうバスの中で一人一人の近況報告や高女時代の懐かしい思い出話などを楽しく聞いていたうちに最初の目的地「三溪園」に着きました。

綺麗に手入れされた緑豊かな日本庭園を歩いてみると時間が経つのを忘れてしまうようでした。茶席・望塔亭で美味しいお抹茶とお菓子をいただきました。ガラス張りの窓からは静かな池に泳いでいるのが見え、心落ち着くひとときでした。

次は楽しみにしていたランチタイムです。ヨコハマグランドインナーコンチネンタルホテル31階にある中国料理「カリュウ」では京浜地区の

皆様が待っていて下さいました。同期の旧友と同じテーブルを囲み懐かしい再会でした。

ホテル最上階の一面に広がる窓からのベイブリッジや横浜港などの素晴らしい眺望を楽しみ、美味しい料理を堪能しました。食後は全員で横浜港をバックに記念撮影。京浜地区の皆様と名残り惜しくも

お別れし、横浜美術館へ出発しました。横浜美術館では戦後70年記念として「戦争と美術」をテーマにした展示がありました。

様々な作品を通して当時の様子や戦争が人々に残した傷跡の深さを実感しました。

その後元町散策を楽しみ、山下公園まで足を伸ばすとインドフェスティバルが開催さ

平成28年度親睦旅行のご案内

秋の信濃・善光寺と小布施北斎館

- 期日 平成28年10月16日(日)
- 行程 高崎駅東口(7時半出発)→善光寺→三樓海鮮 懐石 萬佳亭(昼食)→信州小布施北斎館→高崎駅(18時半頃)
- 費用 13,000円
- 定員 40名(バス1台)
- お申し込み方法 高女椎樹館
- (1) 平成28年9月1日(木) 10時~12時(参加費を添えてお申し込みください)
- (2) 電話での受付 平成28年9月1日(木) 15時~20時(江原・柳澤携帯 下記参照)
- 電話による受付の場合、9月7日(水)までに振込み
- 振込先 ゆうちょ銀行 00110-9-361356
- 加入者名 高崎女子高校・87期同窓会
- お問い合わせ 江原 千恵 TEL:090-6184-1317 柳澤 朋代 TEL:090-1541-0299

京浜同窓会

京浜同窓会のご報告

87期 岡田奈美

平成27年6月28日、東京目白の椿山荘にて、第64回高女京浜同窓会が開催されました。高崎からのご来賓を始め、多くの同窓生のご参加をいただき、総勢106名の賑やかな宴となりました。

最初に、京浜同窓会の鈴木令子会長(50期)が、緑豊かな椿山荘にて、七夕のように一年に一度、懐かしい同窓生と楽しい時間を過ごせる喜びをお話くださいました。村田喜代子会長からは同窓会報のお話、大栗校長先生からは母校の後輩の素晴らしい活躍のお話を伺い、同窓生としての誇りを感じました。



発声で乾杯をし、会食となりました。思い出や近況を語り合い、会場が明るく和やかな雰囲気です。また、恩師の藤倉新一先生のご挨拶をいただきました。恩師の京浜同窓会へのご出席は久しぶりなうえ、87期生は三年間お世話になった先生でしたので喜びも一入でした。ミニコンサートでは、赤羽その子さん(90期)が歌唱とピアノの弾き語りをしてくださいました。アカペラでの「アメイジング・グレイス」から始まり、「アヴェマリア」、会場全員で歌った「夏の思い出」など、数曲を演奏されました。

た。クラシックの弾き語りは珍しいようで、明るく美しい歌声とピアノの音色に会場中が魅了されました。

鈴木会長の指揮で校歌を合唱しました。他ではあまり例を見ない美しい三部合唱の校歌は、歌うたびに母校の思い出と誇りが込み上げます。

次回当番幹事88期の紹介の後、来年の再会を誓いつつお別れとなりました。

平成28年度京浜同窓会ご案内

- ▶平成28年7月10日(日) 11時30分~14時
- ホテル椿山荘東京 オリオン1(プラザ棟5階)
- ▶会費 10,000円
- ▶連絡先 88期 石田孝子 TEL:090-4373-1851

期別同窓会

最終会を迎えて

56期 松本節子

平成27年6月21日(日)私達は、11回38年間続けてまいりました同窓会に幕を下ろしました。次回は3年後の開催予定となつて居りましたが、79歳、80歳になり、出席者が激減してしまうのではな

いか、寂しく終るより、賑やかな内に終りにしようとの理由からでした。

昭和53年に第1回を137名の出席者で開催致しましたが、それ以前にも「みずき会」という名前で、高崎在住の人達で時折食事会をしておりまして、5回目「平成9年」までは5年毎の開催で、各クラスの先生方もご出席でした。皆さんからの希望多数で、6回

新年会

86期 竹部恭子

平成28年2月7日、高崎ビューホテルにて赤い垂れ幕に迎えられ、世代を超えた300人以上の同窓生が集い、恒例の新年会が開催されました。

凛としたお姿の村田会長の挨拶で始まり、続いて鈴木京浜会長より、今年ご自身も年女であるというお話を頂きました。

そして大栗校長の祝辞では、在校生からの心に響く言葉が披露されました。「高女には頑張る人を敬う文化がある!だから私は頑張れた!」

祝宴に入ると会場内には和やかな歓談の輪が広がり、楽しい雰囲気に包まれました。今年のアトラクションは、当番期のホープ、東砂織さんのヴァイオリンとピアノのミニコンサートでした。音色はもちろん、選曲も素晴らしく「情熱大陸」や新年会にふさわしい「春の海」、アンコールに添えて「さくらさくら」など華やかな演奏に酔いしれ、まさに会場内がコンサートホールとなりました。

50歳を記念して

83期 横山明子

平成27年11月14日、ホテルメトロポリタン高崎にて、期別同窓会が開催されました。4年ぶり2回目ですが、7名の先生方、91名の同期生が出席し、盛大なものとなりました。前回出席できなかった人にとっては、実に32年ぶりの再会となりました。それぞれに当時の面影があり、月日の流れを一緒に超え、タイムスリップしたようでした。

一番盛り上がったのは、スライドショーです。幹事の粋な計らいで、懐かしい写真が次々と写し出されました。末広校舎での日々、りんご狩り、スキー教室、稲荷町校舎での行事、修学旅行、思い出が蘇ってきました。更に末広校舎での体育祭の様子が動画で流れると、会場にいる全ての者の目がくぎ付けとなりました。

87期同窓会

87期 狩野佳子

平成27年12月20日、ホテルナ高崎にて、87期初めての同窓会が開催されました。竹内暉男先生、藤倉新一先生、湯浅純子先生、長岡正範先生、富所三郎先生に御出席いただき、総勢80名ほどの盛大な会となりました。

先生方もあの頃と変わらずお元気で、昔の話や近況についてのお話をいただくことができました。また、幹事から今後の予定や活動について説明させてもらいました。会の最後は懐かしい校歌を藤倉先生指揮に合わせ、歌い、あらためてあの頃を思い出することができました。その後は全員で笑顔、笑顔の記念撮影。

楽しい時間、本当にあっという間の時間。再び逢うことを約束し、それぞれの帰途に着きました。心がほっと暖かくなる、素敵な同窓会が開かれたことを幹事一同、心から嬉しく思っています。



ノ伴奏にて、30名の歌声が一つとなり大変美しいハーモニーが会場内に響きわたりました。

楽しい時は瞬く間に過ぎ、当番期代表光島祥子が心からの挨拶をいたしました。当番期をきっかけに同期が再び繋がれ、先輩後輩の交流が生まれました。

まさにこれが高女の素晴らしい伝統であると感じ、次期当番期へ無事バトンを渡すことができました。



87期 狩野佳子

母校の近況

●音楽部 「夢」は「目標」に

音楽部は、聴く人に想いの伝わる音楽を目指し、日々練習に励んでいます。7月の群馬県合唱コンクールで金賞を頂き、関東大会に向けて練習中...



現在、部員たちは5月3日(火)、4日(水)に高崎市文化会館で行われる第33回定期演奏会に向けて練習しています...

(3年 新井可奈代)

●ソフトテニス部 念願の全国大会出場

ソフトテニス部は、昨年8月の高校夏季大会団体優勝のち、12月に行われた高校新人大会において団体第2位となり、関東高校選抜ソフトテニス大会への出場権を獲得しました...



見事に達成してくれた部員の底力には脱帽させられます。今後も練習に励み、関東大会およびインターハイ出場、そして勝利を目指してがんばっていきます...

(顧問 矢島豊)

●高校生外交官として

私が参加したAIU高校生国際交流プログラムは、全国から選ばれた40人の高校生が夏に高校生外交官としてアメリカで3週間、国連や国防総省などへの訪問、ホームステイやプリンストン大学での国際交流活動に取り組むのです...



プログラム参加前は自分にあまり自信がなく、私はもともと広い世界をみて、そんな自分を変えたいと強く思っていました。そしてプログラム中、多くのことに挑戦し、その挑戦したことすべてが自信につながりました...

(2年 深津里佳)

●主な部活動成績 (平成28年3月15日現在)

Table with 3 columns: Department (e.g., 陸上部, 山岳部), Activity (e.g., インターハイ, 全国選抜), and Results (e.g., 800m 100m, 走幅跳 4x100m).

●平成28年度大学入試合格者一覧 現役+過年度卒 ()内卒 平成28年3月29日現在

Table with 3 columns: University Name (e.g., 国立大学, 上越教育大学), Number of Graduates, and Graduation Status.

おたより



67期 間庭文子

カナダで45年

高女同窓生の皆様、お元気でいらっしゃいますか。ここ10年の私は、日本とカナダを行き来して両親の面倒を見、二人を静かに送ることができ、一つ肩の荷を降ろした思いでおります。

それ以前の私は、カナダの高校と日本語学校で日本語教育の一端を担わせて頂いておりました。昭和60年代は日本のバブル期と相まって、カナダ政府の目が日本へと向き、それに伴って高校教育の中に第二外国語として日本語が取り入れられ、教師不足という



来ました。当時は外国における日本語のパイオニアであったオーストラリア製の教科書を使用しました。日本語学校の方では、カナダ政府と日本政府双方からの援助を得て、カナダ要素を取り入れた教科書作成という仕事にも携わりました。そして今では、高校での日本語クラスは縮小に次ぐ縮小、日本語学校の方は片

親が日本語を母語としない生徒が増加の一途を辿り、隔世の感を禁じ得ません。45年前は、カナダを米国と同じ国だと思込んでいた日本人が多勢でしたが、1ドルは360円の時代でした。外国語としての日本語は、国語としての日本語と異なる部分もありますが、基礎は同じなので、高女時代に使用していた国語文法の学び直しなどをして、20年勤めました。日本では何気なく「読みます」と言っていますが、英語圏で学ぶ者は、最後の「す」を強く発音すると異なる言葉としてとらえてしまい混乱します。日本語はピッチ(高低)言語で、英語はアクセント(強弱)言語であるという認識が教える時には大切な事項です。

★椎の樹マンドリンアンサンブル 募集中. Includes contact info for 植松美枝子 (66期) and 高崎「南八幡公民館」.

★同好会の近況. Includes info for 合唱部 (67期) and 須藤静子 (71期).

★写真 (写真). Includes info for 望月清世 (49期) and 吉村晴子 (52期).

★バスケットボールOG会. Includes info for 住谷悦子 (74期).

★母校からのお願い. Request for cooperation with school activities like internships and career talks.

★同窓会からのお知らせ. Information regarding alumni association activities and membership.

★維持費の納入について. Details on membership fees and payment methods.

★個人情報の変更について. Information on how to update personal details.

★新井(旧姓大塚)美智子様. Message from the editorial committee regarding a letter.

★あしがき. Thank you message from the editorial committee.

Table with 2 columns: Office/Committee (事務局, 編集委員会) and Members (e.g., 87期 渡澤矢知子, 48期 小山八重子).